令和4年度 団体運営補助金の見直しについて



令和4年12月 いちき串木野市

令和4年度団体運営補助金の見直しの結果

今後も人口減少と少子高齢化の進行等により、厳しい財政状況が見込まれることから、補助金の見直しを行いました。

令和4年度は、団体運営補助金につきまして、前回令和元年度に見直しを行った57補助金のうち、10%削減を行った団体等16補助金に限定して、実績報告書及び決算資料等を精査し、16補助金中1補助金、全体で6.3%の補助金について削減することといたしました。

考え方としては、決算において、ここ2年コロナ禍により事業が実施できていないことを鑑み、ほとんどの団体を現状のままとしておりますが、今回そのような影響を考慮しても、多額の繰越額がある1団体については、15万円の削減としております。

見直しの結果、令和5年度から7年度における影響額としましては、年間15万円で、引下げ率は0.4%となりました。補助金の財源は、広く市民からの税金等で賄われている公金であることから、今後も補助金の適正な交付に努めてまいります。

区分	件数	備考		(単位:千円)	
色刀	十女人	川 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	R4年度(A)	R5~7年度(B)	影響額(A-B)
定額削減	1	No.10	450	300	△ 150
現状のまま	15	No. 1,2,3,4,5,6,7,8,9,1 1,12,13,14,15,16	33,404	33,404	0
計	16		33,854	33,704	△ 150

引下げ率: $\triangle 150 \div 33,854 \times 100 = \triangle 0.4\%$

▲削減

No.	補助金名(担当課)	R4補助	補助金の概要及び課題等	方 針	R5∼R7	影響額
1	いちき串木野地区交通安全協会補助	567	交通事故を防止し交通の安全と円滑を図るための補助	基金及び繰越額は多いが、ここ2年は	567	0
	金(まちづくり防災課)		主な事業は交通安全活動、セーフティ・チャレンジ交通安全コンテスト、優良運転者の	コロナ禍により、事業が実施できて		
			表彰等	いないため、今後の状況を注視する		
			R03年度決算 支出総額11,629千円うち市補助567千円 <u>繰越額3,354千円</u>	こととし、3年間現状維持とする。		
			繰越額 (R01)4,111千円 (R02)4,036千円 (R03)3,354千円			
			会 費 (R01)4,591千円 (R02)4,695千円 (R03)4,032千円			
			加入者数 (R01)2,550人 (R02)2,608人 (R03)2,240人			
			<u>基金残高 (R01)3,361千円 (R02)3,553千円 (R03)3,649千円</u>			
			R03年度末借入金残高600千円(R07まで毎年150千円償還)			
			交通安全活動により交通事故発生件数は減少している			
			会員減少に伴い、会費収入が減少傾向にある			
2	いちき串木野市まちづくり連絡協議	101	 16地区のまちづくり協議会が組織する「市まちづくり連絡協議会」に対する運営補助	繰越額は多いが、ここ2年はコロナ禍	191	0
	会運営補助金(まちづくり防災課)	171	主な事業は定例会、研修会等	により、事業が実施できていないた	171	
	云座占冊切並 (よう) (すめ欠訴)			め、今後の状況を注視することと		
				し、3年間現状維持とする。		
			繰越額 (R01)159千円 (R02)330千円 (R03)348千円	し、3牛囘兇仏稚村とりる。		
			市民と行政による共生・協働のまちづくりを推進するために必要である			

▲削減

No.	補助金名(担当課)	R4補助	補助金の概要及び課題等	方 針	R5∼R7	影響額
3	いちき串木野市社会福祉協議会補助金(福祉課)		協議会の活動及び運営経費に対する補助 主な事業はふれあいのまちづくり、共同募金、訪問給食サービス等 法人単位資金収支計画より R03年度決算 支出総額(支出計)161,826千円うち市補助17,732千円 繰越額(当期末支払資金残高)32,596千円 繰越額(H30)23,509千円(R01)16,052千円(R02)18,283千円(R03)32,596千円 貸借対照表より ○主な資産 (R04.3.31現在) 純資産 225,985,918円 現金預金 28,949,974円 財政調整積立 30,964,796円 施設整備積立 69,010,292円 介護保険事業積立 24,121,200円 森福祉基金(利子運用) 28,800,000円 ふれあい福祉積立(利子運用) 25,153,000円 自己資本比率が高い (純資産) 225,985,918円÷ (総資産) 262,919,097円×100=85.95%(※)	多額の基金残高及び現金預金があり、自己資本比率もかなり高いが、今後の状況を注視することとし、3年間現状維持とする。 (※) 一般的に40%以上なら倒産しくい、50%以上は超優良企業とわれる	- IC	0
4	いちき串木野市身体障害者協会運営 補助金(福祉課)		会員相互の親睦及び生活の向上を図ることを目的とする身体障害者協会の活動及び運営に対する補助 主な事業は相談会、運動会、グラウンドゴルフ大会等 会員が減少傾向にある (R01)154人 (R02)112人 (R03)95人 身体障害者手帳所持者数 (R01)1,795人 (R02)1,806人 (R03)1,733人 R03年度決算 支出総額520千円うち市補助205千円 <u>繰越額263千円</u> 繰越額 (R01)311千円 (R02)297千円 (R03)263千円 障害者にとって貴重な社会参加の場となっている	繰越額は多いが、ここ2年はコロナ禍により、事業が実施できていないため、今後の状況を注視することとし、3年間現状維持とする。		0

▲削減

No.	補助金名(担当課)	R4補助	補助金の概要及び課題等	方 針	R5∼R7	影響額
5	シルバー人材センター運営費補助金(長寿介護課)	11,340	高齢者の就業確保のためシルバー人材センターが短期的又は臨時的な仕事を把握し提供する事業運営に対する補助 正味財産増減計算書より R03年度決算 支出総額(経常費用計)105,378千円うち市補助11,340千円 繰越額(正味財産期末残高)26,509千円 繰越額(田味財産期末残高)26,509千円 繰越額(H30)25,019千円(R01)23,815千円(R02)25,426千円(R03)26,509千円 貸借対照表より(R04.3.31現在) 現金預金 13,175,652円 減価償却引当資産 6,669,377円 財政運営資金積立資産 8,000,000円 自己資本比率が高い (正味財産)26,509,457円÷(総資産)33,130,164円×100=80.01%(※) 国と市の補助額に差はなし(市補助11,340,000円、受取連合交付金11,340,000円) 高齢者を取り巻く社会環境の変化、生活環境や考え方の多様化等により加入会員が減少している(H31.3.31)202人(R03.3.31)178人(R04.3.31)171人	高いが、今後の状況を注視することとし、3年間現状維持とする。 (※) 一般的に40%以上なら倒産くい、50%以上は超優良企業われる		0
6	いちき串木野市保育連絡協議会補助 金(子どもみらい課)	189	保育所相互の連絡連携を取り、併せて保育の研修に務めることにより保育所資質の向上 に寄与する協議会の活動及び運営に対する補助 主な事業は園長研修、職員研修等 R03年度決算 支出総額227千円うち市補助189千円 繰越額576千円 繰越額 (H30)272千円 (R01)264千円 (R02)502千円 (R03)576千円 H21年度以降、行事費の実績がない 毎年、保育に係る国の制度改正等があり意欲的に取り組んでいる	繰越額は多いが、ここ2年はコロナ禍により、事業が実施できていないため、今後の状況を注視することとし、3年間現状維持とする。		0
7	認定農業者会活動補助金(農政課)	243	認定農業者間の親睦を深め、農業経営の改善を図るための補助 主な事業は農業簿記研修会、運営委員会、視察研修等 R03年度決算 支出総額37千円うち市補助0千円 <u>繰越額532千円</u> <u>コロナ禍のため、R2及びR3は市補助金支出なし。</u> 繰越額 (H30)428千円 (R01)366千円 (R02)511千円 (R03)532千円 農業振興及び担い手確保のため支援すべきである	繰越額は多いが、ここ2年はコロナ禍により、事業が実施できていないため、今後の状況を注視することとし、3年間現状維持とする。		0

▲削減

No.	補助金名(担当課)	R4補助	補助金の概要及び課題等	方 針	R5∼R7	影響額
8	JA花き部会等活動補助金(農政課)		花き部会の生産向上及び経営の安定を図るための部会活動に対する補助 主な事業は視察研修 R03年度決算 支出総額79千円うち市補助0千円 繰越額124千円 繰越額 (H30)50千円 (R01)50千円 (R02)141千円 (R03)124千円 会費収入26,000円を超える役員手当27,841円がある	コロナ禍により活動ができず、繰越額も多いが、市補助金をR3は申請しておらず、また、JA補助金との兼ね合いもあることから、今後の状況を注視することとし、3年間現状維持とする。		0
9	JA青年部活動補助金(農政課)		JA青年部に対する活動補助 主な事業は視察研修 R03年度決算 支出総額136千円うち市補助41千円 <u>繰越額213千円</u> 繰越額 (H30)49千円 (R01)100千円 (R02)196千円 (R03)213千円	コロナ禍により活動ができず、繰越額も多いが、JA補助金との兼ね合いもあることから、今後の状況を注視することとし、3年間現状維持とする。		0
10	いちき串木野市まぐろ漁業母港基地 化推進協議会補助金 (水産商工課)		まぐろ漁業の母港基地化により水産業の振興を図るための協議会の活動補助 主な事業は出航祝い品、企業訪問等 H27年度に市補助金30万円を60万円に増額 R03年度決算 支出総額276千円うち市補助450千円 <u>繰越額1,179千円</u> 繰越額 (H30)1,026千円 (R01)1,019千円 (R02)929千円 (R03)1,179千円 R03年度は協議会の支出を上回って補助をしている R03年度はコロナ禍により、誘致活動ができなかった	ここ2年はコロナ禍により、事業が実施できず、繰越金も多いことから、3年間150,000円削減する。		△ 150
11	いちき串木野商工会議所運営補助金(水産商工課)		商工業者の経営指導及び各種説明会等による支援活動を行うことにより商工業者の経営 安定及び商店街の活性化を図ることを目的とする補助 H23年度に市補助金200万円を220万円に増額 R03年度決算 支出総額40,388千円うち市運営補助のみ1,980千円 <u>繰越額7,171千円</u> 繰越額(H30)21,903千円 (R01)5,022千円 (R02)8,697千円 (R03)7,171千円 R04.3.31現在基金残高 <u>財政調整積立資産 67,178,842円</u> 花火大会運営積立金 2,025,107円 青年部積立金 (2基金) 2,246,173円 退職給与積立金特別会計預金 6,847,836円 特定退職金共済制度保険料積立金196,349,361円*職員の退職金共済制度保険料	基金及び繰越額は多いが、コロナ禍で商工業者からの相談業務等も増加していることから、今後の状況を注視することとし、3年間現状維持とする。	·	0

▲削減

No.	補助金名(担当課)	R4補助	補助金の概要及び課題等	方 針	R5∼R7	影響額
12	私立幼稚園教育助成金(教育総務 課)	45	R03年度決算 支出総額126千円うち市補助45千円 繰越額42円 繰越額 (H30)0千円 (R01)44千円 (R02)78千円 (R03)42千円	繰越額は多いが、ここ2年はコロナ禍により、事業が実施できていないため、今後の状況を注視することとし、3年間現状維持とする。	45	0
13	市地域女性団体連絡協議会運営補助 金(社会教育課)	528		繰越額は多いが、ここ2年はコロナ禍により、事業が実施できていないため、今後の状況を注視することとし、3年間現状維持とする。	528	0
14	いちき串木野市郷土史研究会補助金 (社会教育課)	32	本市の郷土資料の収集及び研究に努め、地域文化の向上に寄与することを目的とする研究会に対する運営補助 主な事業は研究発表会、史跡探訪、会誌出版等 R03年度決算 支出総額326千円うち市補助32千円 <u>繰越額124千円</u> 繰越額 (H30)329千円(R01)285千円(R02)250千円(R03)124千円 郷土の歴史・文化の貴重な研究団体であり、継続支援の必要がある	繰越額は多いが、ここ2年はコロナ禍により、事業が実施できていないため、今後の状況を注視することとし、3年間現状維持とする。	32	0
15	羽島史跡顕彰会運営補助金(社会教育課)	32	羽島の郷土資料の収集及び研究に努め、地区文化の向上に寄与することを目的とする顕彰会に対する運営補助主な事業は黎明祭、歌人萬造寺斉顕彰「墓前祭」、ゴンザ顕彰祭、史跡探訪等R03年度決算 支出総額100千円うち市補助32千円 <u>繰越額212千円</u> 繰越額 (H30)165千円(R01)189千円(R02)169千円(R03)212千円 郷土の歴史・文化の貴重な研究団体であり、継続支援の必要がある	繰越額は多いが、ここ2年はコロナ禍により、事業が実施できていないため、今後の状況を注視することとし、3年間現状維持とする。	32	0

▲削減

No.	補助金名(担当課)	R4補助	補助金の概要及び課題等	方 針	R5∼R7	影響額
16	青年団体運営補助金(社会教育課)			繰越額は多いが、ここ2年はコロナ禍により、事業が実施できていないため、今後の状況を注視することとし、3年間現状維持とする。 羽島青年学級は会費について規約との整合性を図る	177	0
	合 計 (16補助)	33,854			33,704	△ 150